

## 専門研究 A

# 特別支援学校における支援システムの充実に 向けた総合的研究 -特別支援教育体制の取組の 状況とその改善に向けた課題に関する調査研究-

(平成22年度)

## 研究成果報告書

平成23年3月



独立行政法人

NISE 国立特別支援教育総合研究所



## 目次

はじめに	- 研究の趣旨について -	1
I	調査の背景となる事項の整理	3
II	調査設計	15
III	調査結果から見えること	17
IV	支援システムの機能の充実に向けて	37
資料	調査結果	資料 1
	調査票	資料 169



## はじめに

### － 研究の趣旨について －

本研究は、特別支援教育体制における 1) 特別支援学校のニーズのある子どもへの支援 2) 地域への支援の更なる充実を図っていくためのスタートアップ研究として、現状の把握と課題点を整理することを目的として実施する。また、本調査の結果に基づいて、次年度以降の研究に反映させていくものである。

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を実施するためのものであり、その趣旨からも、特別支援学校には、1) 校内におけるさまざまなニーズのある子どもへの教育の推進、2) 地域のセンターとして様々な障害種に対応することができる体制づくり、3) 学校間の連携などを一層進めていくこと 等が求められている。

特別支援学校の専門機関としての役割についての認識は深まっており、各学校で積極的な活動が展開がされており、1) 校内体制や2) 地域に開かれた学校としての機能の質の向上を図っていく必要がある。

本研究では、学校教育法改正以降3年が経過した現在までの到達点を把握するとともに更なる充実のために課題点を明らかにしていくこと、また、質的な評価をしていくために、対象の事項に関するデータを数値化し比較することなどを企図した。

調査項目は、特別支援教育における特別支援学校の支援システムの状況をこれまでの先行的調査を検討するとともに、関係方面の報告書などを整理分析して設定することとした。

本研究では、全国特別支援学校長会の協力を得て、全国の特別支援学校を対象に質問紙法による調査を実施することとし、現在の取組状況と改善のための今後の検討課題を明らかにするとともに、今後のさまざまなニーズのある子どもの教育に関する制度・システムの在り方を検討していく上でもその基礎となる資料が提供できるものと考えている。

## 専門研究A「特別支援学校における支援システムの充実にに向けた総合的研究－特別支援教育体制の取組の状況とその改善に向けた課題に関する調査研究－」

### 【研究組織】

研究代表者

松村勘由（企画部）

研究分担者

澤田真弓（教育支援部）、大崎博史（教育研修情報部）、横尾 俊（教育相談部）、

植木田潤（教育相談部）

研究協力者

徳永亜希雄（企画部）、大内 進（教育支援部）

研究班

柘植雅義（推進班 班長）

### 【研究概要】

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を実施するためのものであり、その趣旨からも、特別支援学校には、地域のセンターとして、特別支援教育の取組をさらに推進しつつ、様々な障害種に対応することができる体制づくりや、学校間の連携などを一層進めていくことが求められている。この特別支援学校の専門機関としての役割についての認識は深まっており、各学校で積極的な活動が展開されてきている。当研究所においてもさまざまな研究に取り組んできたところである。特別支援教育をさらに推進していくためには、特別支援学校においては、その体制や地域に開かれた学校としての機能の質の向上を図っていく必要があるが、そのためには、制度改正以降現在までの到達点を把握するとともに更なる充実のために課題点を明らかにしていくことが求められる。

この特別支援教育充実のための機能や学校での取組における質の向上を図っていくための検討課題を明らかにするという観点から、本研究では、「センター的機能の質的向上」、「特別支援教育コーディネーターの役割と専門性及びコーディネーターを支える組織体制」、「個別的教育支援計画の確立と一貫した支援体制の整備や関係機関との連携」等に焦点をあて、全国特別支援学校長会の調査結果などを踏まえて、現在の取組状況と改善のための課題に関して全国の特別支援学校を対象に質問紙法による調査を実施する。

この調査から得られた結果は公表し、今後の政策課題把握のための基礎資料として活用する。

なお、本研究は「特別支援学校における支援システムの充実にに向けた総合的研究」のスタートアップ研究として位置づけており、調査結果に基づいて、次年度以降の研究に反映させていく。